



人権教育 学年等 目標			
第1学年	第2学年	第3学年	特別支援学級(桃組・桜組)
* 障害者に対して理解を深め、障害者と積極的な関わりをもてる生徒を育成する。	* 障害者、高齢者、異性に対しての偏見や差別をもたない生徒を育成する。	* 人権についての理解を深め、偏見や差別をもたない強い心を育成し、互いに認め、励まし合う人間関係を築こうとする態度を育てる。	* 障害や困難に負けない、明るく強い心と身体を育てる。

普遍的な視点からのアプローチ

- * 生きることが人権とどのように関わるのかを知り、身近な生活を見つめ直すことを通して、かけがえのない人間としての自らの生き方を追求する。
- * 自尊感情や他者への思い、願いを敏感に捉え、豊かな感性や人権感覚を育む。
- * 人と人との関わりを通して、互いに認め励まし合う人間関係や人権についての理解を深め、自分を見つめ高める態度を育てる。
- * 体験的な活動を通して、自分の価値観や世界観を豊かにし、互いを認め合い共に生きようとする態度を養う。

個別的な視点からのアプローチ

- * 差別の不合理性についての認識を深め、差別を見抜く感性を養う。
- * 人権獲得の歴史と人々の生き方に学び、人々のたくましさや人間の尊厳についての認識を深める。
- * 差別の問題を人ごととせず、日常生活の中にある様々な人権に関する課題に気付き、主体的に関わる実践の態度を培う。
- * 具体的な人権問題を切り口に、様々な人権問題の学びへと発展させる。